

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2014 年第 22 週
(5/26～6/1)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、咽頭結膜熱が増加しています。→トピックス
- ◇ 夏の感染症である手足口病も少しずつ増加しています。

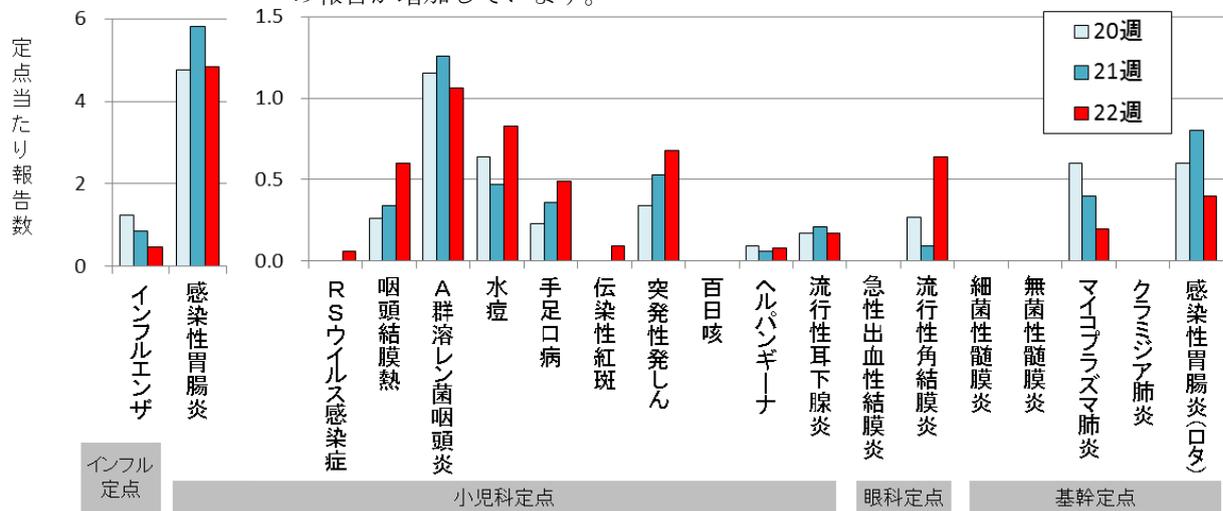
■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所名（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較

・先週と比較して咽頭結膜熱、水痘、手足口病、突発性発疹、流行性角結膜炎の報告が増加しています。



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 6 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 2 例

● 2014 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	163 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9 例	
4 類感染症	E 型肝炎	3 例	デング熱 1 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 8 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症 12 例
	急性脳炎	1 例	梅毒 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	風しん 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	麻しん 2 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《初夏に気を付けたい感染症～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・水痘・咽頭結膜熱～》

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌の感染による発熱と
のどの痛みを特徴とする疾患です。

県内では4月中旬以降、現在にかけて報告数
が増加しています。

原因菌は患者の鼻水や唾液に排出され、飛沫
感染（咳やくしゃみのしぶきを吸い込む）や接
触感染（菌のついた手で口や鼻を触る）により
感染が拡大します。手洗い・うがいを励行し、
兄弟など身近に患者がいる場合は濃厚な接触
は避けましょう。

◆ 水痘（みずぼうそう）

水痘ウイルスの感染による全身性の水疱を
特徴とする疾患です。

毎年冬に患者数が最も増加しますが、初夏に
も流行します。今年は過去3年に比べて報告数
は少ないものの、5月以降増加傾向にあります。

水痘ウイルスは非常に感染力が強く、飛沫感
染、接触感染のほか、空気感染も起こします。

水痘にはワクチンがあり、1歳から接種が可
能です。任意接種となりますので、医師に相談
しましょう。

◆ 咽頭結膜熱

アデノウイルスの感染による発熱、咽頭炎、
結膜炎を特徴とする疾患です。例年春から夏に
かけて流行し、プールで感染することもあるこ
とから「プール熱」とも呼ばれます。

県内では、今週、報告数が増加していますの
で、今後の動向に注意が必要です。

ウイルスは患者の鼻水や唾液、目やに、便などに排出され、飛沫感染や接触感染により広がります。手洗いを励行するほか、プールではタオルや目薬の共用を避け、おむつなど汚物の取り扱いにも注意しましょう。

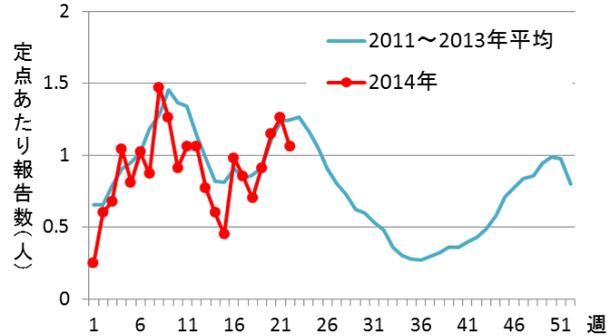
◆ 保育所や幼稚園などでは特に感染に注意しましょう。

各疾患の好発年齢は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が3～6歳、水痘、咽頭結膜熱が1～6歳となっています（2014年岐阜県）。いずれも保育所や幼稚園などの集団生活で感染が起こりやすいので注意しましょう。

感染症法における取扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及び咽頭結膜熱は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数(岐阜県)



水痘患者報告数(岐阜県)



咽頭結膜熱患者報告数(岐阜県)

